



みくびだより

発行 御首神社社務所

御挨拶

拝啓 当神社の御神域も深い緑に包まれて新しい息吹が感じられるようになりましたが、皆様方におかれましては、愈々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

天皇皇后両陛下におかれましては、去る三月十一日に東日本大震災二周年追悼式にご臨席されました。式典では両陛下は標柱の前に進まれて深々と一礼され約六分間にわたるお言葉を述べられました。中でも国内の救援活動はもとより、諸外国からの実に多くの善意が寄せられましたことに深い感謝の意を表せられ、また今回の津波災害における日頃の避難訓練と津波防災教育、そしてこの度の教へ過去の教へを後世に伝え残す事の重要さなどについてお述べにられました。

また、皇太子ご夫妻がお揃いでオランダの国王即位式へご参列なさいました。皇太子妃雅子様には、十一年ぶりの外国での御公務となりましたので、取り分けご療養中のごともごさいまして心配しておりましたが、笑顔も見られ安心致しました。これを機に少しずつ御公務に復帰されますことを国民の一人として心から願うばかりでございます。

一方、冒険家でプロスキーヤーの三浦雄一郎氏が、五月二十三日、世界最高峰エベレストの登頂に八十歳の高齢で挑み無事成功しました。この誉れ高き記録は、高齢化社会を迎える日本において、国民に勇気と希望を与えたに違いないと思わずにはいられません。心から敬意を表します。

さて、第六十二回神宮式年遷宮の遷御（内宮十月二日・外宮十月五日）の日程が、天皇陛下より御治定遊ばされました。これに先立ち、古式に則り「お白石持ち行事」が来月より実施されます。当社崇敬会本部では、「お白石持ち行事」の参加に際しまして、参加者一同が真心を込めてご奉仕できますよう諸準備をすすめております。

最後になりましたが、皆様方の御健勝と御多幸を祈念いたし、御挨拶とさせていただきます。

宮司 三浦 篤

『海幸彦と山幸彦』の「山幸彦」(五巻五回)



瀬瀬若の命の子供たちは皆立派に成長し、その中でも火照命は釣りの名人「海幸彦」、火遠理命は狩りの名人「山幸彦」と呼ばれました。

ある日のこと、山幸彦が海幸彦に「お兄さん、一回いいから道具を交換して、僕は釣りに、お兄さんは狩りに行ってみませんか？」との願いをこめました。海幸彦は最初は嫌だと断りましたが、何度もお願いをされるうちに、一度だけだぞと道具を交換する事になりました。

海幸彦は弟の弓矢を持って狩りに出かけましたが、全く上手く行きません。「一本の矢も当たらずじまらん！ 辞めだ、辞めだ！」とすくに帰ってしまいました。

山幸彦はと云ひつゝ、釣竿を借りてとても喜び釣りに出かけたまては良がったのですが、何時間経っても一匹も釣れませんでした。「うーん。やっぱりお兄さんみたくはいかないなあ...。」と帰り支度をしていると、釣針が無くなっているではありませんか！ 必死に釣針を探していると、海幸彦がやって来て、「俺には狩は向いていないようだ。そういうお前も一匹も釣れないじゃないか！ ワハハ。さあ、道具を返してくれ。」と言いました。山幸彦は「僕も釣りは向いてないみたい...」じ、実はね、お兄さんの大切な釣針を無くしてしまっただけなんです...。本当にごめんなさい！」と謝りました。それを聞いた海幸彦は「はあ！？何て事をしたんだ？だから俺は嫌だと言ったんだー謝って済む問題じゃないぞ！弁償しろよ！早く探して来い！」と、怒って帰ってしまいました。

山幸彦は、自分の持っていた十拳剣を砕いて、五百個の釣



針を造りきしたが、海幸彦は受取ってくれません。ならばと、千個の釣針を造りきしたが、海幸彦は「お前の造った釣針が何個あっても、一匹の魚も釣れやしない！俺の釣針を見つけたら帰ってきなな…」と意地悪な事を言いはじめた。山幸彦は海辺で「こんな広い海で小さな釣針一つ、一つずつ探せばいいんだらう。」と泣いていました。すると、海から塩椎神しおつちのかみがやって来て「そこで泣いておられるのは、山幸彦さまですか？ 何か悲しいことでもあったのですか？」

と声をかけてくれました。山幸彦は、兄の釣針を無くしてしまっただけで、そして釣針を見つけないと帰れない事、はじめて深い海では探さぬ事、塩椎神しおつちのかみに相談しました。塩椎神は「なほほ。海幸彦さまもなかなか意地悪な事やいな。さういふ事になったら、私にお任せ下さい。」と、山幸彦に釣針の作り方を教えました。



◎ おとうさん、おかあさん、おじいちゃん、おばあちゃんへ！

今回は「海幸彦と山幸彦」をお届け致しました。古来より伝わる神話を、お子さまやお孫さまと一緒に読んでいただき、子供たちの情操教育の一助となりましたら幸いです。

祭事報告

▼浄火祭

二月三日午前十時齋行

本年は昨年とは打って変わって天候に恵まれました。また日曜日に重なった事もあり、非常に多くの参拝者が見守る中、厳肅ながらも盛大に神事を齋行致しました。昨年奉納されました金幣串や絵馬・帽子、また返納されました紅白串を火炉に集め、皆様方の心願成就を祈念し、忌み火を以てお焚き上げ致しました。



▼例大祭

四月二日午後三時齋行



本年の例大祭は岐阜県神社庁の副庁長を献幣使にお迎えし、桜も満開の中で齋行致しました。祭典が始まると天候が崩れ始め、毎年恒例の氏子の子供たちによる夜の打ち囃子奉納が中止となりましたことは非常に残念でありました。

諸祭典（抜粋）

- ▼ 月次祭
- ▼ 年越大祓
- ▼ 元旦祭
- ▼ 左義長
- ▼ 祈年祭
- ▼ 鉾山神社例祭
- ▼ 南宮神社例祭

崇敬会入会のご案内

本会は、「古来首より上の諸病を憂うる者此の社に願えば靈験あらたか：：」と伝わりし御首神社の御神徳に感謝し、ご家族の諸病平癒・無病息災・家内安全生業繁栄並びに子孫繁栄を願う崇敬者の会として設立されました。

入会を望まれます方は、社務所までご一報下さい。早々に案内資料をご用意させて頂きまます。

会員の特典（抜粋）

- ・ 入会報告祭の実施
- ・ 誕生特別祈禱の実施及び祈禱神符の授与
- ・ 主要祭典のご案内
- ・ 昇殿参拝

会員の種類と年会費

個人	三千元
家族	五千元
特別	一万円
法人	二万円
名誉	三万円

〈お問い合わせ先〉

神社社務所まで
〇五八四一九一三七〇〇

國王神社(こくおうじんじゃ) 氏子会正式参拝

茨城県坂東市にご鎮座されます國王神社(ご祭神平将門公)さまが、宮司(飯塚美貴雄)始め氏子二十七名にてお越しになられました。(五月二十日)

國王神社さまと当社のご縁は、平成二十二年の春に「ご祭神平将門公の故郷探訪の旅」と称し、関東一円の縁ある神社・史跡を巡り、正式参拝をお仕え頂きました経緯がございます。

ご遠方からのご参拝誠にありがとうございました。

退任職員挨拶

平成十五年に奉職させて頂き早十年を迎え、この度実家のある土岐市の神社に奉職する事となりました。氏子崇敬者の皆様方には、これまでご指導いただき心より御礼申し上げます。

地元の神社では、御首さんのような多くの方に親しまれるお宮になるよう神明奉仕に励む所存であります。

お世話になりました。有り難うございました。

永井 雅和

御祈禱について

当神社のご祈禱は、「一般祈禱」「期間祈禱」「特別祈禱」の三つに分けられます。

初めに「一般祈禱」には、祈禱の種類【図1】がございます。祈禱料は各五千円（焼納感謝祈禱・その他諸祈禱は祈禱料一万円）となります。ご昇殿の上、ご祈禱をお仕えし撤饌（お下がり）・祈禱

【図1】

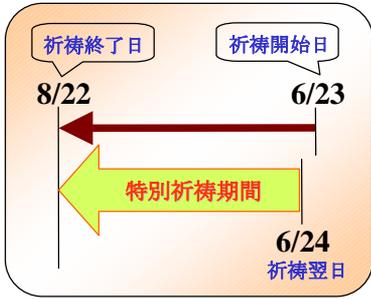
一般祈禱	
<ul style="list-style-type: none"> ・良縁 ・交通安全 ・安産 ・車清祓い ・初宮 ・家内安全 ・七五三 ・商売繁盛 ・厄除け ・事業繁栄 ・満願御礼 ・算賀祝 ・方除 	祈禱料 5,000円

串授与、神酒をおあがり頂きます。次に「期間祈禱」には、「祈禱種類と祈禱期間」【図2】がございます。「期間祈禱」については、二ヶ月間祈禱を図式化しましたので【図3】をご参照下さい（祈禱申込日を六月二十三日に設定）。祈禱は「一般祈禱」と同様にご昇殿の上行われ、翌日二十四日から祈禱終了日にあたる八月二十二日まで、毎日（毎朝）神職により、祈願成就を願うご祈禱が継続し執り行われます。次に「特別祈禱」は、祈禱期間

【図2】

期間祈禱	
<ul style="list-style-type: none"> ・病氣平癒 ・健康 ・学業成就 ・職務精励 ・受検合格 ・（就職） 	祈禱料
当	5,000円
1ヶ月間	8,000円
2ヶ月間	12,000円
3ヶ月間	15,000円
6ヶ月間	25,000円
1年間	35,000円

内にご参拝頂いた場合に限り、千円以上のお志にて、ご祈禱をお受けになることが叶います。但し、祈禱種類の変更は出来かねます。この「特別祈禱」には、手術日試験日等の当日或いは近い日に、家族が代参しお受けになる場合や、毎週毎月お見えの方、また期間中毎日お申込になる方もございます。「特別祈禱」ご希望の方は、祈禱申込用紙にご記入頂き、「特別祈禱希望」の旨お申し出下さい。祈禱期間確認後、お仕えいたします。ご参拝お待ちしております。



【図3】例）2ヶ月間祈禱と特別祈禱

御首神社ホームページ 神職への質問Q&A

問 御首神社さんの「お砂」は、敷地を祓い清める為に使うものでしょうか？

答 当社の「御神砂」は、土地を祓い清めるものではございません。体の病んでいるところ・調子の良くない部分にあてて病気の平癒を願います。また、中には「御神砂」を枕の中（枕カバーと枕の間）に納められ睡眠をとられる方もおみえになります。お使いの際には、ビニール袋からお出しにならず、そのままの状態でお使い下さい。



（御神砂）

問 「御神砂」に、使用期限はございますか？

答 長い方で一年、短い方ですとご参拝の都度に新しい「御神砂」をお受けになられます。また、病状が改善したり変化が見受けられた時、袋が破れる等の破損時など皆さん様々のようです。



（社務所玄関前）



（拝殿前）

問 「御神砂」は、神社のどちらで受けることが出来ますか？

答 拝殿前の賽銭箱左側と社務所玄関左側の二カ所になります。午前八時から午後五時の間お受けになることが出来ます。

問 「御神砂」台の下部木箱に初穂料百円を入れて、「御神砂」一体をお取り下さい。

答 古くなりました「御神砂」は、庭に撒いても良いですか？
問 当社に、ご返納下さい。拝殿前設置の「御神砂」台の下に専用の返納箱をご用意してございます。ご遠方など諸事情あつて返納出来ない方は、当社にお送りいただくか、或いはお近くの神社にお納め頂きますようご案内申し上げます。

祭事案内

▼お田植祭 六月初旬

境内の御神饌田に苗を植付ける神事。御神饌田前にて齋行。

参列可

▼農休祭 六月中旬

御神饌田・氏子地域のお田植が無事終へた事への感謝と、この先様々な病害虫に侵される事なく無事実りの秋を迎えられるよう願います。

見学可

▼西宮神社例祭 七月十七日

兵庫県の西宮神社より御分霊を戴き、蛭子命をお祀りする西の相殿社の例祭。商売繁盛・事業繁栄などの御神徳あり。

参列可

▼末廣稲荷神社例祭 八月四日午後三時

京都伏見稲荷大社より御分霊を戴き、宇迦之御魂神をお祀りする境内東に鎮座する末廣稲荷神社の例祭。

氏子地域の子供達による行灯の奉納があり、稲荷神社参道に掲げられます。

参列可

▼夏越大祓 八月四日午後三時半

境内の遥拝所前にて齋行。半年間の無意識に身についた罪と穢れを祓い清め、年末まで健康に過ごす事を願う神事。

参列可

▼長寿祈願祭 九月十五日午後四時

氏子地域の御長寿の方々をお招きし、ご健康とご長寿を願います。

見学可

▼神明神社例祭 十月十七日

天照大御神をお祀りする本殿の北西に鎮座する境内社の例祭。

参列可

▼七五三祝祈禱 十一月



元々、男の子は三歳と五歳、女の子は三歳と七歳にてお祝いされてきましたが、近年は男女

共に三歳・五歳・七歳にてご参拝される方が多数お見えになり、時季も十月初めから十二月中頃までと随分長くなっております。当社では、七五三のご祈禱を十一月を中心にお仕えます。ご家族お揃いでのご参拝お待ちいたしております。

平成25年 七五三		
	数え歳	満年齢
7歳	平成	平成
	19年 生まれ	18年 生まれ
5歳	平成	平成
	21年 生まれ	20年 生まれ
3歳	平成	平成
	23年 生まれ	22年 生まれ

▼崇敬会大祭 十一月三日午後二時

当社崇敬会会員の為の大祭。大神様の御守護に感謝し、家内安全・無病息災などを願います。

参列可(崇敬会員)

▼新嘗祭 十一月二十三日午後三時

五穀豊穣に感謝し、初物を大神さまに食して頂き、天皇家の御安泰・国家の安寧を願います。

見学可

伊勢神宮式年遷宮

お白石持行事奉仕

ご参加の皆様へ

お申込頂きました会員の皆様には、五月半ばにハットピセットを郵送致しました。開封の上内容物のご確認をお願い申し上げます。

また、お白石持行事の実施されます八月三十日・三十一日は、季節柄猛暑が予想されており、十分に体調を整えられまして、ご参加賜りたく重ねてお願い申し上げます。

御首神社崇敬会本部



(提供/神宮司庁)

編集後記
本年は、第六十二回神宮式年遷宮の年であります。晴れの大儀を国民挙ってお祝いしましょう。

御首神社社務所
岐阜県大垣市荒尾町二二八三の二
TEL(0584)91-1370
Eメール yamusy@mkubi.or.jp